


●ガバナー 田中 常浩 ●会長 清川 浩幸 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 中村 澄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2228 回 例会 記録

《国際奉仕（米山）委員会担当例会》

2022 年 10 月 20 日（木）

点鐘 12：30

レポート No. 1660



SAA 吉田賢治会員



ゲストのお二人

《ゲスト》

米山奨学生 丁 江麗さん

地区米山記念奨学会委員

平野 榮子様（八戸北 RC）

《会長要件》清川会長



皆さんこんにちは、今月は米山月間です。本日は米山奨学生の丁 江麗さんにお越し頂いております。弘前大学医博課程に在籍され4年生です。平野様、丁さん本日はよろしくお願ひ致します。また、丁さんから

お土産を頂戴しました。あとで皆さんと頂きたいと思ひます。丁さんどうもありがとうございました。



さて、今月のハイライトよねやまに夏のワークショップ IN 浦項の見出しの記事がありました。浦項市の浦項工科大学にて開催されたそうです。記事によると 2016 年から在韓日本人留学生への奨学金支援も毎年行っているようです。今は、パンデミックで姉妹クラブの南浦項 RC には行けていません。毎年のように訪問しているのに大変申し訳ないですが私は知りませんでした。きっと各国で日本の米山奨学事業と同じ奉仕活動が行われているのでしょうか。米山の寄附金に対しても少しは考え方が変化するのではないのでしょうか、皆さん協力をお願い致します。

また、先週は職業奉仕委員会と社会奉仕委員会合同の委員会を開催したそうです。私も出席を予定していましたが、急遽病院から連絡があり出席をドタキャンしてしまいましたが、久保田委員長・小原委員長をはじめ委員の皆様お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。今年度の目標として委員会の活性化を掲げていますが協力いただき、ありがとうございました。各委員会も協力をお願い致します。その時は、必ず出席させて頂きましますので、よろしくお願ひ致します。



《出席報告》出貝委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 6 名を含む 21 名。出席率は 75% です。

《結婚記念日》



櫻田会員

《幹事報告》慶徳幹事

・先日の理事会報告で来月の予定をご案内しましたがけれども内容が変更になるかもしれません。来週の理事・役員会で決定し再度発表させていただきます。来月の予定表は来週の理事会後に FAX、メールにてご案内いたします。



・地区事務所よりアクトの翼のお知らせが来ています。来年 1 月に 5 泊 6 日で台北市で行われる予定です。各クラブへの協力のお願ひと要項が来ていますのでご覧になりたい方は事務局までお声がけください。

・地区事務所より地区大会のお礼、ガバナーエレクトより地区大会 PR ご登壇のお礼が来ています。

・地区事務所よりガバナーノミニージェグネード決定のお知らせが来ています。青森モーニング RC の米谷恵司様に決定しました。

・ハイライト米山が届いています。メールで送信してありますのでご覧ください。メールのない方にはレターボックスに入れてあります。

・翻訳委員会より 2022 年 1 月と 4 月の財団管理委員会議事録が来ています。ご覧になりたい方は事務局までお声がけください。

・八戸市を緑にする会より第 51 回八戸菊祭り開催のお知らせが来ています。

《ニコニコボックス》松橋副委員長

清川会長：米山記念奨学委員会平野様、よねやま奨学生 丁 江麗様、ようこそお越しいただきました。本日はよろしくお願ひ致します。



慶徳幹事：丁 江麗さん、今日はよろしくお願ひします。

黒田会員：米山年奨学生 丁 江麗さん、スピーチありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

石橋会員：丁 江麗さん、今日は宜しくお願ひします。

伊藤会員：丁 江麗さん、今日はよろしくお願ひします。

西村会員：丁 江麗さん、卓話楽しみにしていました。

吉田賢治会員：丁様、平野様、ようこそお出で下さいました。今日はよろしくお願ひします。

配偶者誕生日：榎会員

結婚記念日：大澤会員、櫻田会員

《ロータリー財団委員会》熊谷副委員長

本日清川会長よりポリオご寄付いただきました。ありがとうございます。



《国際奉仕委員会》吉田委員長

国際奉仕委員会の吉田です、平野様、丁様、よろしくお願ひします。本日米山へ6名の会員よりご寄付がありました。お名前をご紹介します。清川会長、慶徳幹事、赤穂会員、久保田会員、西村会員と私です。ありがとうございます。



《国際奉仕委員会》米山担当西村副委員長

皆さんこんにちは、米山を担当している西村です。本日の卓話は、皆さんもそうでしょうけど1年の中で一番楽しみにしているプログラムの1つです。本日は地区委員の平野様のお計らいにより、中国からいらしている丁江麗さんの卓話を頂くことになりました。丁さんに伺ったところ中国読みはジャン デイリンさん、大変きれいな名前でございます。丁さんは今、弘前大学の大学院博士課程に在籍されている4年生ということで、私もかつて在籍してまして、黒田先生もそうだと思いますけれども、はるかな後輩ということになるかなと思います。今、どういふ研究をしているの？と聞いたら、説明していただいたのですがほとんど理解できなかつたです、難しい研究をしているみたいですが、でも今日はわかりやすいお話をしてくれると楽しみにしています。よろしくお願ひします。



《地区米山記念奨学会委員会委員》平野榮子様

皆様、改めましてこんにちは、八戸北ロータリークラブの平野です。2830地区の南グループの米山担当をさせて頂いています。私がお話しようと思った事、西村様が全部話して下さいましたので、私が話す事は何もございません。ただ、南グループの皆さんには米山奨学金の寄付を沢山いただいています。2830地区の中でもかなりトップの方です、感謝しています。是非これからもそれを続けて頂ければ有難いと思ひますのでよろしくお願ひいたします。



《米山記念奨学生》丁 江麗さん



皆様 こんにちは。私は米山ロータリー奨学生の丁 江麗と申します。弘前ロータリークラブにお世話になっております。中国から日本に参り四年目になりました。現在、弘前大学大学院医学研究科脳血管病態学講座の博士四年目です。本日は八戸南ロータリークラブにお伺いしまして、卓話をさせて頂くのを楽しみにしておりました。20分ほどの卓話なので、長いスピーチとなります。私も頑張ってスライドを用意して参りましたが、日本語がまだまだ未熟なもので、上手くできなくても、皆様のお心に少しでも残るお話ができたなら幸いです。本日はどうぞよろしくお願ひ致します。

卓話の流れとしては、まず私の出身地、次に家族の紹介、そして来日のきっかけ、留学の感想、研究成果の報告、米山奨学生としての体験、将来の計画についてお話しさせていただきます。



まずは私の出身地の湖北省について紹介させていただきます。湖北省は揚子江の中流域に位置し、洞庭湖の北にあるため、湖北という名前が付けられました。総面積は18.59万平方キロメートルで、およそ本州の4分の3です。人口数は6000万人です。揚子江は全省を貫流し、世界最大の水力発電ダムである三峡ダムは当省に位置しております。湖が散見され、湖北省には0.1平方キロメートルの湖が1000個存在することから、千戸の章とも呼ばれています。水に恵まれ、湖北省は農業と漁業が発達し、お米や麦、綿、シルク、お茶と魚の産地で、お米と魚のふるさととも称されています。夏の最高気温は40度以上に上ることもしばしば、武漢は夏の暑さで中国の三大ボイラーとして有名です。冬の平均気温は4度ぐらい、雪は降ら



中国から日本への留学

弘前ロータリークラブ

2021-2023年度米山奨学生 丁 江麗

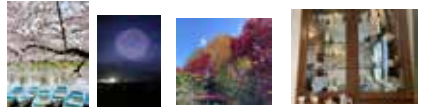
2022・10・20

ないです。省内には世界自然遺産としての神農架は自然環境にめぐられ、希少な動物が多く生息しております。世界自然文化遺産としての明の時代の皇家道場の武当山と明の時代の皇陵の顕陵、または三国時代の遺跡である古隆中、赤壁など数多くの観光名所があります。

次に、家族についてお話しします。私の両親はなくなりました。上には兄一人いまして、今中国の広州市で中学校の英語の教師です。今の家族は義理の父母、夫、私と二人の娘の六人家族です。主人は東風カムインズエンジン株式会社にエンジニアとして勤めております。義理の父と母は子供の面倒を見てくれております。上の娘は11歳で、小学校五年生です。下の子はもうすぐ6歳で、来年から小学校に入ります。

次に、日本での留学感想についてお話しさせていただきます。日本に来て、東京や大阪など大都市にも旅行に行きました。

留学感想
・こだわりの日本
・使命感が持つ日本人



大学でも日本人の友達ができ、時々遊びに行ったり、お食事に行ったりしていますので、日本人の考え方や心の豊かさに感心しております。日本人はすごく儀式感があります。春の桜花見、夏のねぶた祭りや花火鑑賞、秋の紅葉狩りや冬の雪まつりなど、季節の転換を年中行事のように楽しんでいます。日常生活のさりげない部分においても、色々こだわりがあります。例えば、一日3度の食事に用いる食器に対して 豪華であったり高価であったりする必要はないが、美観を軽んじることはなく、単に食べ物を盛り付けるだけのものではなく、食事の中で味覚と共に視覚的な美味しさも工夫しています。これらの小さなこだわりにより、毎日は特別な日のように新しく輝いていきます。

そして、日本の研究者は使命感があります。うちの隣の研究室には、アルツハイマー病の発病メカニズムと治療薬の開発に取り込んでいる先生がいらっしゃいます。その先生はいつも朝から晩までコツコツと実験したり、論文を読んだり、夜でも英語会話の練習をしたりしています。私も時々先生と話あう機会があります。先生はよく、人間はどうせ最後は死ぬので、お金や名誉などがどうでもいいものだ。生きているうちこの世に対して何か意味があることをしたいんです。と言われます。中国人はその正反対で、研究が昇進のため、お金がたくさん欲しい、名誉と地位が欲しいなど全て自分のためです。それで、日本はやっぱり言われた通り中国より三十年ほど進んでいると感じます。それは医療技術だけではなく、人の器も遥に進んでいると感じます。その器で、21世紀に入ってからは、自然科学部門の国別で日本は米国に続く世界第2位のノーベル賞受賞者数となっています。

さて、今までの研究成果を皆様にご報告させていただきます。私は人の腎臓のマーカータンパク質のTMEM72について研究しております。ここ3年間、こ

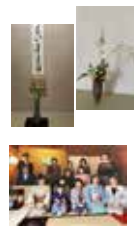
のタンパク質の細胞内の局在や細胞内のトランフィキングのシグナルを発見しました。この二つの発見は蛋白質機能の解明や

腎細胞がんの分子生物発生機序の解明に土台を作りました。ファーストオーサーとしての論文は1通しかいなかったですが、もう一つの論文は投稿中です。

それでは、米山奨学生としての体験も皆様にお話ししたいです。米山ロータリーは本当にチャンスの扉を開いてくださいました。2021 から 2023 年度に

米山奨学生としての経験

- ・素晴らしい方々に学ぶチャンスがある
- ・視野を広げ、奉仕の精神を学んだ
- ・日本の文化を深く体験させていただいた
- ・研究に専念できる



米山ロータリー奨学生に選ばれたのは本当に何より嬉しく思います。経済的な支援をいただくことだけではなく、世話クラブ

でロータリアンや委員会など立派な方々と触れ合うことができます。この場で、奉仕の精神も学びました。2021年4月から今までの1年半の間、日本の伝統文化、芸術など毎月の例会卓話ですごく勉強になっています。カウンセラーの前田さんに茶道の稽古と花道の体験をさせていただいています。生活とメンタルにも色々支えられて本当に心底感謝しております。奨学金をいただいてから、勉強や研究に専念できるようになりました。そのおかげで、卒業論文は指導の先生に今までの研究室一番ハイレベルの博士論文だと褒められています。

最後に将来の計画についてお話しさせていただきます。奨学生期間が終わったとしても、カウンセラーとの連絡をとり、ローターアクトや学友会に入り、ロータリーファミリーの一員として、国際的な社会貢献の活動に参加し、次世代を支える役目を果たしていきたいです。大学院を卒業したら、日本で学んだ研究内容と研究に取り込む姿勢を、医学研究や教育の場で生かしたいと思っております。また、留学が終わっても日本の研究者とのコミュニケーションを維持し、日中での共同研究を通じて日中医学研究交流の架け橋となっていきたいです。これで卓話は以上になります。ご清聴ありがとうございました。

《西村副委員長》

丁さん、本当にありがとうございました。本当に感銘を受けました。感激しています。もう言うことはありません。本当にありがとうございました。



丁さんありがとうございました



閉会点鐘

研究成果

- ・人の腎臓のマーカータンパク質であるTMEM72について研究しております
 - ・TMEM72の細胞内の局在や細胞内のトランフィキング シグナルを発見した
- 蛋白質機能の解明や腎細胞がんの分子生物発生機序の解明に礎石を築いた
- 論文1
- 論文2, FEBS journal (IF 5.6) 投稿中